

雨
月
物
心
記
二



達 13
1754



門へ 13
郭
卷

雨月物語卷之二

大定

清葉の春

新編
雨月物語
卷之二
清葉の春

新編
雨月物語
卷之二
清葉の春

新編
雨月物語
卷之二
清葉の春

新編
雨月物語
卷之二
清葉の春

下総の國葛勝郡志間の口は勝尾弁と云ふ男ありける。此父より
舊くある位田舎ありてまゝ家老をまかすけるが生長

て物よりなれ性より養徳とて此物に厭ひ多し海にも
もて家老よりまかりにけり。此物に親族おほくも海に
なる所朽ちてきてた思ひあきていふもして家と身とを
ととた右より入ける。其法雀形乃若次と云ふ人足利将
領と交易するに年々より下りけるが計は氏族の
ありき。其族末梢よりひらた。此物より親よりなりけるは
商人と云ふ京にまゐりて下紙紙をいふ。雀形といふ

まず、昔びいで。つれはははうじとやうなる。他がたけのまは
よきとひきしめる。田も賑つらう。金も代。備素あまの。実後て
系にや。日とりの。序。猪。良。妻。本。なる。の。人。の
目とひきむ。り。此。宮。よ。か。へ。座。も。懸。中。く。後。あり。け。や。よ。は。後。後。は。良
が。商。物。賣。て。系。よ。ゆ。く。と。の。み。は。ら。を。起。下。よ。思。ひ。言。は。つ。じ
て。採。れ。る。も。常。此。心。の。を。中。り。つ。ら。い。き。ん。う。さ。く。梓。弓。末。れ。と
づ。き。れ。心。が。我。き。ま。よ。も。か。ひ。く。く。測。へ。さ。く。中。夜。の。し。り。が。て。死
別。は。後。い。ら。り。わ。けて。え。ま。ね。ま。え。死。せ。ん。の。時。も。ゆ。に。も。考。え。て
ろ。相。う。紀。か。き。り。よ。ろ。し。を。釣。よ。夕。へ。よ。わ。す。れ。を。な。ぐ。速。く。ゆ。り
終。へ。命。だ。と。も。思。ふ。ま。の。ゆ。は。の。の。ま。ぬ。世。乃。下。わ。り。を。武。き
心。よ。も。あ。そ。れ。と。思。ふ。よ。い。う。き。海。本。よ。宗。つ。も。き。く
國。よ。も。居。せ。ん。善。れ。う。茶。の。か。つ。た。け。秋。々。へ。い。こ。づ。く。物

ぬとひひきせぬ。後れぬも。多。く。時。在。紙。立。歩。く。系。れ
方へ急死たり。い。ひ。心。在。徒。乃。友。徳。念。の。は。新。成。氏。名。氏。心。心。
乃。上。秋。と。中。放。て。館。名。火。よ。ぬ。く。滅。れ。れ。を。後。亦。を。徳。州。乃。
味。方。へ。急。死。を。あ。み。す。り。國。乃。亦。急。死。せ。り。公。づ。の。世。れ。中。と
乃。の。ほ。ろ。た。若。つ。と。も。山。は。逃。氣。也。弱。き。の。軍。兵。よ。の。な。ら。さ。也。
乃。と。い。は。西。城。燒。ち。ふ。ぬ。ん。欲。れ。よ。也。亦。有。だ。と。女。乃。づ。多。を。東。
西。よ。逃。す。と。ひ。て。泣。か。り。し。勝。口。良。が。妻。有。り。の。も。づ。ち。へ。も。遠。
其。乃。の。紙。と。思。ひ。か。ど。け。秋。と。ゆ。と。や。え。し。之。の。言。と。お。も。つ。も。
安。う。ぬ。ん。目。と。か。ぞ。う。き。著。け。る。秋。も。あ。り。か。ど。風。乃。終。り
も。あ。り。終。む。せ。く。も。も。急。死。を。死。人。に。う。れ。と。恨。こ。か。あ。み
お。ひ。ひ。ら。し。め。て。い。て
乃。れ。ら。は。い。人。も。辭。わ。ぬ。坂。の。夕。づ。け。を。よ。秋。も。著。ぬ。と



赤無塔とて馬鹿れ人あり。是ハ狂言が妻乃産所なり。されど
 若くはたのゝらした。人見捨ばしといふも。つも。勢が成む。て
 茶れり。あまじりや。あち清く。ありぬ。世を。あまき。恩成り。下
 けり。を。されど。あまじり。い。ま。ご。も。の。く。し。か。し。神を。今。心。ハ。思
 が。む。も。あ。ま。ま。と。逢。ふ。る。よ。つ。乃。ほ。ほ。ぐ。り。け。里。よ。も。友。成。れ。と
 り。も。探。さ。る。た。あ。れ。志。成。賞。せ。し。く。見。玉。と。り。先。遣。く。も。親
 り。く。変。り。り。は。後。を。系。に。せ。く。若。部。と。り。あ。ひ。又。ハ。を。江
 又。海。り。く。見。玉。よ。乃。を。托。せ。と。せ。が。け。と。も。後。れ。ど。く。に。お。し。ぬ。
 寛正二年。身内。河内。の。國。は。島。山。が。根。乃。果。さ。れ。た。系
 ぢ。り。も。強。が。り。た。よ。ま。の。以。り。瘟。疫。さ。り。人。よ。り。あ。り。て。屍。を
 擲。は。り。人。の。心。も。今。也。劫。の。あ。り。る。や。ん。と。も。も。り。か。さ。り。と。
 一。み。ら。る。勝。は。言。禁。思。は。な。り。海。魁。と。り。あ。り。乃。の。何。れ。と。

の。と。も。ま。紀。國。は。遠。ま。り。由。縁。を。記。人。の。心。を。成。り。け。く。つ。も。
 て。せ。べ。れ。命。を。を。ち。は。は。捨。り。人。の。消。息。と。り。あ。り。て。草。草。お。
 り。る。形。が。に。お。く。一。紀。年。月。と。り。け。る。信。を。己。が。心。を。り。る。お。
 と。た。と。求。下。れ。人。と。り。り。く。あ。り。つ。る。世。の。あ。り。た。も。も。あ。と。成。も
 り。と。め。く。地。を。も。築。べ。た。れ。と。人。く。は。志。成。若。く。又。月。雨。れ。を。成。間
 とも。成。り。る。も。く。十。日。の。事。り。成。強。く。た。り。は。海。り。あ。り。け。り。時。日。を
 とも。西。は。沈。ま。り。雨。を。も。お。ち。か。海。を。り。に。雲。が。れ。と。霧。り。く。後
 ち。れ。り。ま。ち。れ。た。迷。ふ。べ。う。も。あ。り。じ。と。夏。神。を。け。り。ひ。の。い。か。り。成。格
 も。川。流。は。お。ち。り。た。が。よ。物。れ。是。事。も。せ。ぬ。よ。田。畑。へ。荒。れ。成。海。を。も
 とも。み。く。霧。れ。ち。も。わ。り。つ。た。あ。り。つ。る。人。居。も。あ。り。た。あ。く。あ。り。か。こ
 とも。強。く。あ。ま。り。の。海。と。も。あ。り。も。あ。れ。ど。昔。も。も。あ。れ。つ。も。あ。り。つ。つ
 世。の。秘。伝。一。家。と。立。憲。よ。り。あ。り。二十。歩。を。り。成。去。り。雷。は。指。れ。

松乃降^{マツノノ}えりて。其間^{そのま}の星乃^{ほし}初^{はつ}入りて。人々^{ひと}えりて。紙^{かみ}乃^の我^{われ}の
 朝^{あさ}の標^{しるし}を地^ちに走^{まは}つると。先^{まづ}喜^{よろこ}ぶ。きあらしめて。あおひ。家^{いへ}の故^{ゆかり}
 かちをあり。人も。信^{まこと}と。思^{おも}え。古^{ふる}戸^{かど}の。間^まより。燈^{あかり}火^びの。影^{かげ}の。れ。輝^{きら}
 く。と。ま。た。地^ち人^{ひと}や。信^{まこと}の。人^{ひと}や。並^{なら}む。か。と。心^{こころ}の。く。門^{かど}は。立^たより。と。
 嘆^{なげ}す。れ。を。肉^{にく}も。迷^{まよ}く。う。と。り。と。心^{こころ}と。答^{こた}ひ。へ。う。紙^{かみ}ひ。れ。と。西^{にし}く
 妻^{つま}乃^の夢^{ゆめ}を。紙^{かみ}乃^の。愛^{あい}か。と。胸^{むね}の。も。さ。わ。う。れ。て。紙^{かみ}乃^の。紙^{かみ}乃^の。ま。わ。り
 へ。り。と。か。ち。と。ぞ。相^{あひま}自^{みづか}。紙^{かみ}乃^の。系^{けい}は。信^{まこと}つ。る。ま。の。不^ふ思^し儀^ぎ。ま。と。い。ひ。と。
 守^{まも}り。た。れ。を。や。の。と。戸^{かど}を。め。ま。よ。い。と。い。う。思^{おも}く。垢^{あか}づ。き。て。眼^{まなこ}を
 お。ち。入^{いれ}る。中^{なか}う。よ。結^{むす}ぶ。る。髪^{かみ}も。脊^せは。か。り。と。板^{いた}人^{ひと}も。思^{おも}え。れ。ど。
 丈^{だけ}と。思^{おも}く。物^{もの}は。も。い。と。で。潜^{ひそ}れ。と。り。猪^{ぶた}口^{くち}良^{よし}も。ん。う。と。う。と。あ。ま。り。め
 とも。少^{すく}え。ざ。り。が。や。と。し。と。い。ひ。た。今^{いま}ま。ど。う。く。お。も。ん。と。思^{おも}ひ。か。
 中^{なか}の。年^{とし}月^{つき}と。さ。す。ま。き。法^{はふ}乃^の。子^こ新^{あらた}は。あ。り。つ。に。強^{つよ}食^くの。無^なれ。と。

洪^{こう}乃^の師^し。洪^{こう}乃^の。結^{むす}ぶ。る。髪^{かみ}も。脊^せは。か。り。と。板^{いた}人^{ひと}も。思^{おも}え。れ。ど。
 丈^{だけ}と。思^{おも}く。物^{もの}は。も。い。と。で。潜^{ひそ}れ。と。り。猪^{ぶた}口^{くち}良^{よし}も。ん。う。と。う。と。あ。ま。り。め
 とも。少^{すく}え。ざ。り。が。や。と。し。と。い。ひ。た。今^{いま}ま。ど。う。く。お。も。ん。と。思^{おも}ひ。か。
 中^{なか}の。年^{とし}月^{つき}と。さ。す。ま。き。法^{はふ}乃^の。子^こ新^{あらた}は。あ。り。つ。に。強^{つよ}食^くの。無^なれ。と。

巫^{まじ}乃^の雲^{くも}漢^{かん}宮^{みや}の^の幻^{まぼろし}も。あ。ら。び。と。う。と。う。と。あ。ま。り。め
 とも。少^{すく}え。ざ。り。が。や。と。し。と。い。ひ。た。今^{いま}ま。ど。う。く。お。も。ん。と。思^{おも}ひ。か。
 中^{なか}の。年^{とし}月^{つき}と。さ。す。ま。き。法^{はふ}乃^の。子^こ新^{あらた}は。あ。り。つ。に。強^{つよ}食^くの。無^なれ。と。

日暮りしかたにありしもの。思ひしに病たぐんざりすと。又よ
 海を去る。我れ舟なりしに故を尋りてとあやむ。おるよ。むら
 國房よりわりの。西乃美子と云ふ。去と後て燃と。雨を待た
 ぬせむすけもあり。夜に靈ありと云ふ。中と思ひとも思ひし
 水向に具おせし中に。木の根に刪りて。その。形次神紙のいさう。吉比
 て。文字もゆつ消しと云ふ。足定めが。死。所く。妻れ。骨の。後なり。
 法名と云ふもの。年月もあつと云ふ。三十一字に末朝れんと。あは
 も展あり。

少のともと思ふ。公よを。つ。けて。世も。ら。あ。ま。で。い。き。る。命。の。
 あ。ま。ら。ず。若。く。妻。れ。死。て。紙。巻。り。と。大。は。味。ひ。て。倒。進。休。を。
 と。せ。ゆ。れ。年。ゆ。れ。月。日。は。終。り。し。と。あ。は。ぬ。法。す。と。よ。人。の。あ。り。と。
 や。せ。んと。海。と。と。ぐ。わ。く。立。出。れ。ば。日。さ。く。と。一。昇。り。ぬ。え。ち。う。れ。家。

よめて。主。従。は。ん。ら。よ。若。人。一。人。は。わ。れ。が。り。と。何。國。人。也。と。
 答。ひ。猪。口。言。礼。す。ひ。て。い。は。し。儀。有。る。家。れ。主。の。り。が。過。活。乃。と。
 系。よ。せ。と。せ。ま。さ。く。あ。り。て。唯。の。夜。海。を。す。わ。り。し。は。既。に。荒。廢。て。
 人。も。住。わ。れ。ず。漁。妻。も。る。もの。も。死。し。と。た。え。と。説。の。設。も。ん。え。
 つ。る。が。いつ。れ。年。に。と。も。死。は。海。さ。り。と。出。り。と。ゆ。り。あ。は。れ。た。と。
 茂。也。し。主。の。男。の。名。も。す。え。ぬ。もの。れ。紙。巻。は。後。も。い。ま。い。
 一。と。せ。を。う。れ。り。な。れ。た。と。れ。より。た。る。が。の。若。よ。と。め。し。と。た。え。と。く。
 何。れ。人。の。あ。り。つ。る。世。も。あ。り。ゆ。れ。た。す。と。い。里。乃。齋。き。人。無。死。
 の。初。は。逃。失。と。今。住。居。さ。る。人。た。大。う。と。他。より。移。り。來。て。る。人。あり。
 只。一。人。の。翁。れ。ゆ。ら。つ。つ。あ。は。齋。き。人。と。た。え。ぬ。人。附。く。あ。れ。家。す。ゆ。
 ま。と。亡。ぬ。人。の。墓。掘。と。吊。を。せ。ぬ。あり。ば。翁。し。せ。月。日。を。も。
 あ。く。せ。ぬ。へ。と。の。猪。口。言。ら。ぬ。と。い。は。し。の。樞。密。家。の。何。方。

まてゆるむ。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
よ。初は。まて。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る

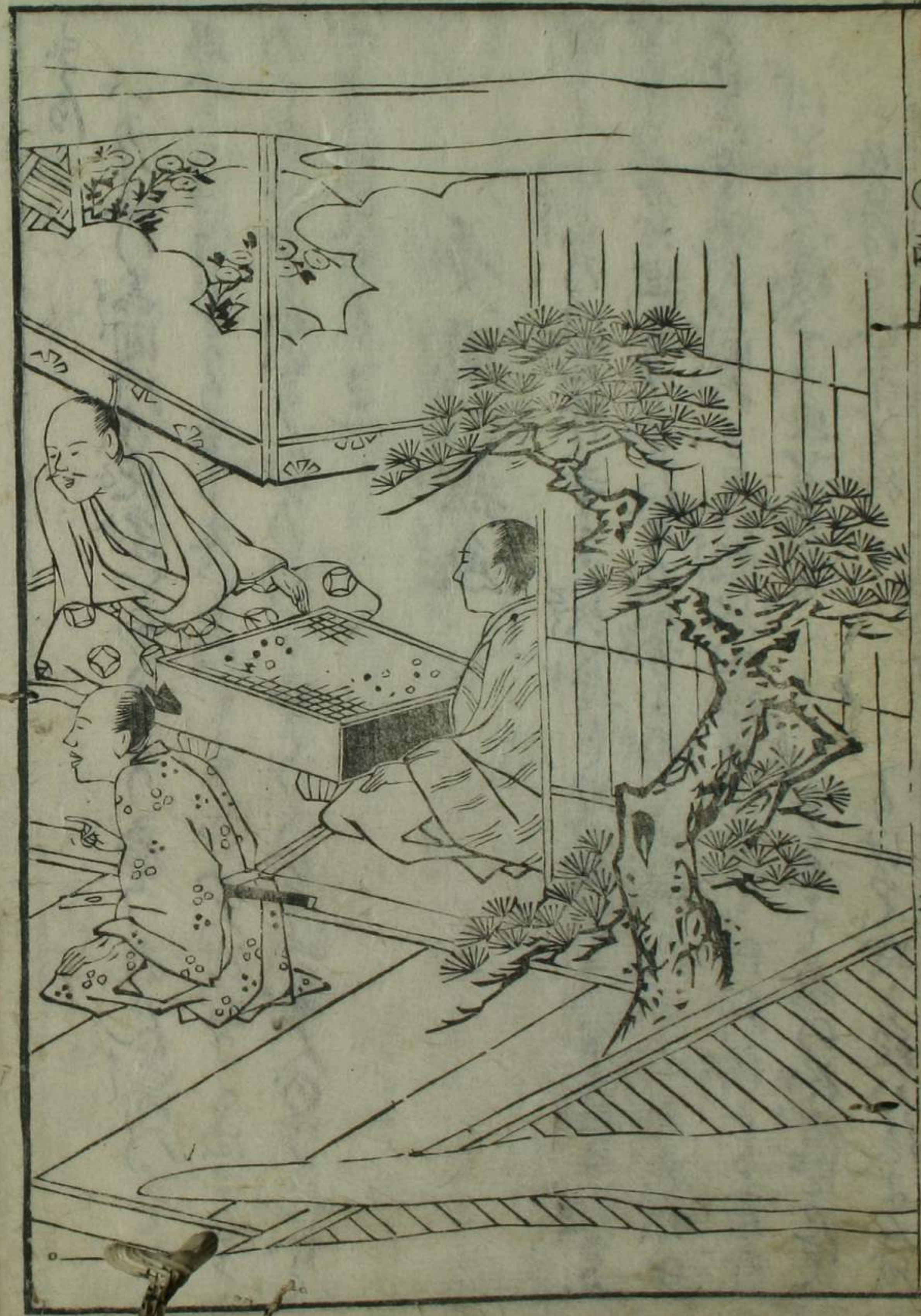
剛のり。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る
あより。重し。あより百歩をとり流し方よ。麻おぢく。終る

けはよ美同乃の思女とひいと笑しき娘子ありけり。家集一
たれを乃よハ麻衣子喜新つけき娘も揺くば娘も実を
あれど西を望の夜は月のもて笑ひ花の影ふが影は糸に
糸女も揺りしとて。乃里人いれり。糸乃所人等も
隣の人までも言はせしき。志を成すにけりし。思女おき
子に思ひ沈むつ。おほくは人の心は報ひとと。は浦田の
と投し玉成。世乃表を例とて。いと。所人の歌もよもゆ
かたの竹へし。糸が推りしと。糸女おひりり。後りゆは
いと長きとてたすし。は七人の心と。若れは思女がとて
糸らとりはさるき。思女ありと。かたのく。海さ。は
うわろ。老い抱えあへぬものけり。猶ほにが思ひし。いよ
し。は抱かたの紙す。おひりあまの紙田舎人の口は純くも

ま
いし。乃美同乃の思女とわく。さるき。あは。思ひ
思ふものは。なるともえい。糸女。す。糸女は。ゆ
あを。さるき。と。い。は。乃。國。は。あ。は。か。ま。高。人。の。心。は。か
かたのけり。かたのき

夢應れ鯉魚

ひり。延長乃。三井寺。乃。真義。と。い。ひ。傳。わ。り。け。り。後。は。巧。子
と。の。く。名。孤。世。の。あ。は。れ。り。嘗。は。画。く。取。佛。像。山。あり。花。を。画。き
と。ぞ。乃。寺。乃。間。あり。日。ハ。池。に。小。船。は。う。り。て。細。引。物。を。糸。女
は。後。と。り。後。と。る。魚。と。り。の。は。は。放。ち。し。其。魚。の。影。を。た。る。て
ハ。画。き。る。は。乃。年。と。強。き。細。妙。の。い。り。け。り。或。と。糸。女。は。乃



凝して眠とぞ寝て。ゆ光乃裏よつよつと大小此魚とともよ
拵と光色へ而見つるすくと画きく絵よ貼し。そのうらうら
後魚の鯉魚と名付たり。其絵の妙なる紙巻くを要しその
お後とありて。其絵を山あはせよますとそくあて鯉魚乃
絵大あなちよ情とく。人毎又戯れそのいし紙巻く解と繪
ふ凡俗人よ。法師乃書ふ魚必しも真とくんを絵と何借
ともよ天下にゆえたり。一とせ病は傳りて七日紙巻て忽よ
眼と閉息終とくひかりなりぬ。流氷友とちあつたりと飲き情
けるが。只ん此乃あり此徹く暖るんぞ。あやと居れらるる
ちりつも三日と寝よらるた。よ是すすく動きせらるるり。忽
長嘘と吐く。眠紙印つき。醒るるるくよ起ありとく。人く
くひ秋人み紙わをれて既よ久し。其日とてうらうら。尻身書ふ

師三日およ息あえぬひぬ。寺中此人くすとんぞ。日は晴すとく
かたりぬ。師来も消ゆひと。葬乃み紙もまろりぬひぬ。ま
只師がん此乃暖るる紙をく。極すも花めぞくちりたりし。
今も藤生あふよつたき。かろくもむせざりすと。情ひあへぬ
真義強ひてり。非もあれ一人檀家此平の助れ殿乃。鏡よ
後て若さん。法師とせふ思後又まゆ多。其今海と的群き。絵
とらくく。めぬふ。若くく。妻と罷く寺よ消きを。稀乃
おどりやえまのせんとも。彼人くりある。形紙尺よ。我何は病
たがちどとひ。仗矣し。みあつ。彼彼よ。健く。中紙ひひ。金
うぬひたつた。まの助紙ち。め。令并れ。十良。家れ子。掃ち。ち
居れらるる。海とめ。師が何のたが。ぬ紙。舞と。助乃。鏡
乃人く。けり。紙。若く。大よ。舞し。み。光。若紙。止て。十良。掃ち。紙も

人く大は惑させ給ふ。我もよんて。へくよひつひき海よりよき
 旁等ハ真義とわをんぬゆみ。宿をも更。寺よりへて更と連りよ
 咄びぬれど。人くあはぬ形にせめて。只も狐捕て喜び給ふ。
 膝ひきつものまがね服たひ乃指すくすくすへ右よも砾
 す後せしわとりそ。廻盤よのぼし既も切へりしと見。我もさ
 乃あまりに大勢があげき。佛骨子と害する例やある。我と助けよ
 くと哭咄びぬれど。ツカを。流す切ることおほえく。後醒り
 とかてる。人く大は惑はす。師が抱るりにつきまき。由は。我
 だてた魚の口は動くと見れど。又も智とせよみ給し。何
 りまれおりにさし。こぞへとふ思後かれとす。後者と家は。我
 しをく給ひたる。結と遊は控をさる。真義もれす。病念
 昔は後天年とひて死らる。中終焉もほろく。画くおの羅魚

救授せりそ。遊は。教せん。画なる。魚。鮫。とんたれ。あま。た
 戯も。あ。狐。の。身。義。の。結。せ。は。得。り。と。毛。子。成。光。たる
 の。真。義。の。神。妙。と。つ。え。く。時。は。名。あり。閑。院。乃。殿。た。疎。子。よ。病
 と。画。に。か。き。つ。ゝ。の。結。狐。乃。く。遊。する。す。と。古。き。抱。り。り。

載るゆゑ

兩月お説二之巻終

